

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	地域部会（北総部会）		
タイトル	親子夏の「昆虫観察会」		
実施日時	平成30年8月25日（土）9時～12時		
実施場所	印西市教育センター 草深の森		
受講者	小学生17名 大人16名	F I C会員他スタッフ	8名

活動の内容

印西市教育センター設立時から毎年開催している親子対象の自然観察会に、F I Cが協力して14年目となります。今年は例年の秋の観察会を少し早め、夏の「昆虫観察会」というタイトルで初めての実施を試みました。募集定員をオーバーするほどの応募があり、望外の喜びで、また台風が心配でしたが、好天に恵まれ、楽しい観察会を終了することができました。

〈プログラムの主な流れ〉

センター所長挨拶—講師紹介—安全上の注意—体操・アイスブレイク—昆虫の話（好きな昆虫と擬態さがし）—トイレ後5班に分かれて出発（田んぼ、森のまわり、森の中）—センター帰着

〈観察できた主な昆虫〉

（田んぼ）…オンブバッタ、シオカラトンボ、ヤマトシジミ、ショウリヨウバッタ、キリギリス、ツチイナゴ、ナツアカネ、セスジスズメガの幼虫など

（森のまわり）…アリジゴク、ウスバキトンボ、アゲハチョウ、ノシメトンボ、ナガコガネグモ、オニヤンマ、ハラビロカマキリ、アオバハゴロモなど

（森の中）…ミミズ、ニホンアマガエル、オオヒラタシデムシ、コガネムシ、ヤスデ、クワガタの幼虫、キマワリなど



体操とアイスブレイク



昆虫の擬態についての話



目的と役割を分担しよう



昆虫採集 何がとれたかな



バッタとキリギリスを説明



ハラビロカマキリの興奮

〈森の中の昆虫のはたらきとお願い〉：切り株を倒して観察後の話

1. 森の中に見られる昆虫は森の中のそうじ屋さんで動植物の死骸や糞を分解して土にもどす重要なはたらきをしています。
2. 観察したあとの昆虫は、森の中にもどしてください。森の外に持ち出さないようにお願いします。

今回工夫した点として、ダンボール等でできたボード上の紙に観察できた昆虫名を3つの区域に分けて記録し、最後のふりかえりに活用しました。参加された親御さんの中には、子どもの夏休みの自由研究の資料に使いたいと記録紙の持ち帰りを希望されたり、スマホで撮影されておられました。また、飛び入りで参加された近隣のある中学校の校長先生からは、素晴らしい取り組みとお褒めの言葉を頂きました

